

最上三十三観音霊場の第一番札所として知られる天童市山元の鈴立山若松寺。古来、縁結びに御利益があるとされ信仰を集めるが、近年は氏家栄脩（えいしゅう）住職（73）と「握手すると良縁に恵まれる」という話が広まっている。年配の巡礼者に加え、「縁結び住職」を訪ねる20～40代女性が増えている。

鈴立山若松寺

（天童）



「私に神通力があることになったのは2007年」と氏家住職。縁結びの寺ということで仙台から来たOL4人から、それぞれの名前を呼んで握手してくれと頼まれ、応じた。1カ月ほど過ぎ、その中

の一人の結婚が急に決まった。これをきっかけに氏家住職のパワーが口コミで広まる。やがて雑誌やテレビで取り上げられ「全国区」になった。

祈願者に「良縁の握手」を行う氏家栄脩住職
＝天童市山元・若松寺

良縁生む？

縁結び住職

「良縁の握手」は、香で体を清めた後、両腕を交差して手を握りあい、しばし黙想する。「その人が持つ本来の縁を刺激し、潜在的な良縁を引き出す」のだという。「握手の1週間後、友達の紹介で知り合った彼氏と結婚が決まった」という手紙を数件もらった。うれしいね」と氏家住職。4～12月の第1日曜日に「縁結び祈願祭」を行っているが、9月は県内外から約200人が集まった。

